２）ポテト掘取機・ハーベスター

(1) 用　途

ばれいしょの掘取りや収穫作業に使用する。

(2) 構　造

ばれいしょの収穫には多様な構造の機械が利用されている。作業形態からは、掘取って圃場予乾列を形成するディガー、作物の拾い上げ収納搬送を行うピッカー、掘取りから収納搬送まで行うハーベスターなどがある。

作物収納形態からは、コンテナーを利用するステージ形、収容タンクを備えているタンカー形、伴走車へ積み込むアンローディング形に分類され、タンカー形では、タンクをダンプさせて作物を排出したりアンローディング・コンベアを備えたものがあるが、国内では、けん引式のタンカー形が主流である。

ハーベスターの一般的な構造は、掘取り深さを一定にするためのリード・ローラー、掘取りうね側面を切り取るコールター、うね底面を切り取る掘取り刃などによって構成された掘取り部、アジテーターを備えた土砂分離コンベヤ、上方搬送のためのロータリー・コンベアやエレベーター・バケット、茎葉処理のためのスナッピング・ローラーや茎葉処理コンベア、小いもや小石を除去する小いも抜きローラー、除去した小いもを収納する小いもタンク、作業者が選別作業を行う選別コンベア、収納タンクなどから構成されている。

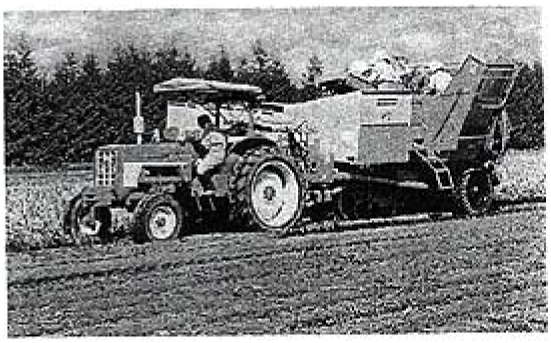
また、でん粉原料・加工用のハーベスターは、食用に比べ構造を簡易にし価格も低く設定されている。リード・ローラーを省略し掘取り深さは、トラクターのロワー・リンクで調節している。その他、小いもタンクなども省略している。また、食用のように枯調剤で茎葉処理を行わないため、茎葉カッタやロータリー・ビーター等を装備している。

(3) 取扱い上の留意点

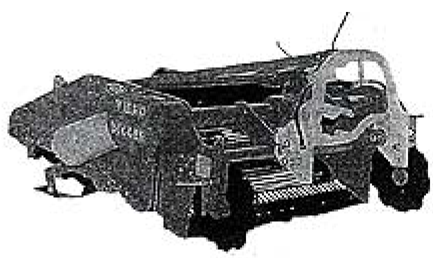
掘取り前に、茎葉処理機や薬剤によって作物地上部の茎葉を処理する必要がある。作物損傷を少なくするため、アジテーターの作用程度、コンベア速度を適切に調節する必要がある。

(4) 安全作業のポイント

① トラクターと本機両者の取扱説明書や安全ラベルを良く読み理解する。
② ＰＴＯ軸や可動部のカバーは常に所定の位置に付けておく。
③ 作業中は補助者以外は乗せない。
④ 点検・調整・修理は、必ずトラクターのエンジンを止めてから行う。
⑤ 着脱時には作業機との間の挟まれや押し潰されに注意する。
⑥ 始動、発進、後進時には、転倒事故に注意し、また、必ず周囲に人がいないことを確認する。
⑦ 移動時には他車との追突や接触に注意する（予防対策として反射材などを活用する）。
⑧ 補助作業者を含めてＰＴＯ軸やコンベアなどへの巻込まれ、人の転落、轢かれ、掘取刃部への接触などに注意する。



トラクター半直装 ポテト・ハーベスター



ばれいしょ掘取機